

～夏山の遭難防止～

～山登り 体力・技量を覚えて～

山の雪解けとともに登山ハイキングなどで、山に出かける機会が多くなります。

山岳遭難を防ぐために、次の点に注意しましょう。

- 登山は十分な装備とゆとりある計画を立て、自分の体力や技量に合わせて登山を心がけましょう。
- 登山計画書を作成し、最寄りの交番・駐在所に提出しましょう。
- 経験のあるリーダーのもと、複数での登山に努め、単独での登山は控えましょう。
- ヒグマとの遭遇を避けるために鈴などの音の出るものを携帯しましょう。
- 万が一のために、携帯電話などの連絡手段を携帯しましょう。



忍び寄る組織犯罪の国際化
あなたの目が街を守る

全国における来日外国人による犯罪の検挙は、過去数年減少傾向にあります。

しかし、近年の来日外国人犯罪は、単発的な犯罪が目立った平成初期の状態とは異なり、その組織化や地方への拡散化、さらには日本国内に止まらず、あらゆる国や地域におよぶといった「犯罪のグローバル化」という大きな質的変化が進んでいます。

また、在留資格を不正に取得することを目的とした偽装結婚事案等、依然として多数の不法滞在者が存在し、その多くは不法就労をしているとみられ、それらの一部は、こうした国際組織犯罪などへの関与を深めていることが懸念されます。

地域の安全を妨げる国際組織犯罪の暗躍を防止するためには、警察や関係機関のみならず、道民の皆さんのご協力が欠かせません。

どんなささいな事でも構いません。「おかしいな？」と思ったら警察に通報してください。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

問池田警察署 ☎015 (572) 0110



「北海道女性の活躍支援センター」
をご活用ください。

北海道では、結婚、子育て、介護など女性のライフステージや就業、起業など様々なお悩みに電話・メール・面談にて対応する「北海道女性の活躍支援センター」を開設しています。

「北海道女性の活躍支援センター」では、「悩みがあるけど、どこに相談したらよいかわからない」「挑戦したいことがあるけど、手順がわからない」などの相談に、経験豊かな女性の支援員が専門相談機関や支援施策を紹介するなどコンシェルジュとして対応するほか、起業や法律相談などの専門相談日を設けるなど、女性の総合相談支援機関として皆様の相談に対応していますので、是非ご相談ください。

○ 北海道女性の活躍支援センター

場 所 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 6階
相談電話 011-204-5711
相談時間 月・火・木・金 10時～16時
水・土 10時～13時
(休館日日祝、年末年始)

※ 詳しくはホームページをご参照ください。http://www.l-north.jp/katsuyaku/

【お問い合わせ先】

北海道環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室活躍推進グループ
電話011-206-6954 (直通) 担当：矢島



帯広しんきん寄附



5月26日、帯広信用金庫豊頃支店長仙石聡さんと町教育委員会を訪れ、図書購入費として15万円を寄附しました。

今回の寄附は、大正5年(1916年)に「無限責任帯広信用組合」として設立された帯広信用金庫が5月26日に創業100周年を迎えるにあたり記念事業の一環として行われているもので、本町を含めた十勝管内全市町村に同様の寄附が行われています。

町教育委員会では、郷土資料の整備充実を図るために寄附金を利用して、大津の歴史や地理、風俗に関する図書資料を購入する予定です。

ハルニレンジャーカメラ寄贈



5月17日、町商工会青年部長の石田慎太郎さんとハルニレンジャーイエローが子育て支援所を訪れ、デジタルカメラ1台を寄贈しました。

今回の寄贈は町商工会青年部が50周年を迎えたことを記念して行われたもので、デジタルカメラは子どもたちに直接手渡されました。青年部長の石田さんは「お遊戯会や運動会などで、子どもたちの活躍する姿をたくさん写してほしい」と述べました。

ハルニレンジャーイエローの突然の訪問に子どもたちはビックリした様子でしたが、記念撮影や握手をするなど楽しく交流していました。

台湾サイクリングツアー来町



5月23日、台湾からのサイクリングツアーの一行が来町し、町商工会の島副会長などが長節湖畔キャンプ場の管理施設「いんかるし〜長節」で一行を出迎えました。

参加者は案内人の日本人と通訳の台湾人含めて19名で、5月19日から28日まで、自転車で道東を中心に道内各地を観光しており、自転車での走行距離は1日平均80キロほどで、最大では120キロ走行する日もあり、自転車で北海道を満喫していました。

当日は十勝川温泉を出発し、大津の「さいちゃん食堂」で昼食を取った後、長節湖に到着しました。

長節湖での休憩をはさんだ後、宿泊先の十勝ロイヤルホテルまで一気に風を切るように自転車を走らせていました。

出前行政相談懇談会



5月12日に開催された農野牛中央生涯教室(会場 中央区コミュニティセンター)と5月19日開催の二宮生涯教室(会場 える夢館)で町の行政相談委員石邑良雄さんと総務省釧路行政評価分室評価監視官の萩原克己さんを講師に招き、出前行政相談懇談会がそれぞれ行われました。

懇談会では、行政相談の基本的な内容や、車道の段差解消など行政相談によって改善(解決)された事例が紹介され、各教室の参加者は石邑さんと萩原さんの説明に熱心に耳を傾けていました。

石邑さんは「行政相談委員はよろず相談員のような存在。悩む前にまずは相談してほしい」と参加者に呼びかけていました。